

学ぼう！ ワークシート

No.10 世界各国のこれから

★まずは、ページの内容を学びましょう！

□気候変動に関する枠組みの一つに「京都議定書」がある。

□京都議定書は、アメリカが脱退していたり、中国やインドなどが具体的な数値目標を決めてなかったりと、問題点がいくつかある。

□「パリ協定」は京都議定書に代わる、新たな枠組みである。

□モントリオール議定書とは、オゾン層に関する枠組みである。

□「G7 富山環境大臣会合」のように、各国の首脳や環境大臣が話し合う場がある。

考えてみよう。

パリ協定では、どのようなことに気を付けて目標や規定などを決めていくべきだろうか。

次のページに、自由書き込み欄があります。

★自由書き込み欄(思ったことなど、自由に書こう。)

★おさらいしよう!(空欄に当てはまる語句を入れよう。)

(1) 京都議定書では、日本などは を決めていたが、中国やインドでは決めなかった。

(2) 京都議定書は、 が途中で脱退している。この国は当時世界一の温室効果ガスの排出国であった。

(3) すべての国が参加する新しい枠組みのことを 協定という。

(4) モントリオール議定書では フロンの全廃時期が決められた。

答え

(1) 数値目標 (2) フォアムイカ合衆国 (3) パリ (4) 代替